

開講科目名 / Course	大学ナビ講座	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	前期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	福田 広美	
担当教員名 / Instructor	安部 眞佐子、稲垣 敦、関根 剛、福田 広美、高野 政子、村嶋 幸代、影山 隆之、杉本 圭以子、濱中 良志	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	大学で学ぶにあたり、リテラシーと呼ばれる身に付けておくべき基本的な事項および技術を習得することを目的とする。	
到達目標	1. 本を読むこと、考えること、伝えること、文章を書くことなど大学リテラシーの基本を習得できる。 2. 大学で何を学ぶのか、大学での学習が円滑にできるための知見を得ることができる。	
DPとの対応	4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力	
授業計画	01. オリエンテーション、大学カリキュラムの方針、考え方 02. 大学で学ぶということ/メモ・ノートの取り方 03. アルバイトリテラシー 04. 図書館の利用法 05. 大学の授業と試験の受け方（大学教育および看護系大学の教育） 06. 心の健康・維持増進/健康な生活維持向上（喫煙の害等） 07. 伝える技術1：文を書く、レポートを書く（理論編） 08. 伝える技術1：文を書く、レポートを書く（実践編） 09. 伝える技術2：アサーション（さわやかな自己主張） 10. 伝える技術3：話す、プレゼンする	
その他の授業の工夫	大学リテラシーを早く身に付け大学生活に活かせるよう、初期に授業を組み込んでいる。	
時間外学修	担当教員の課題レポートなどの指示に従う。	
評価方法と評価割合	すべて出席することが評価の前提である。欠席理由の如何にかかわらず、授業欠席2回にて成績評価レベルを一段階下げる。また欠席理由の如何にかかわらず、授業欠席4回にて最終レポート提出の資格を失う。出席60%、最終レポート40%。	
テキスト	必要に応じて、プリントを配布する。	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	関根剛：臨床心理士（教育センター相談室、少年鑑別所勤務経験）
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	石本田鶴子：コミュニケーションオフィス taz 代表、日本教育推進財団認コミュニケーショントレーナー、九州コミュニケーションフォーラム副代表、クレインコミュニケーション代表等大分労働局職員（局長相当） 大久保和弘：高等学校教員、国語科目専門実務経験
実務経験をいかした教育内容	4回目講義のアルバイトリテラシーは労働局職員（局長相当）が具体的なアルバイトに関する統計や相談内容を含め教授する。9回目講義は、臨床心理士の経験を活かしたアサーティブなコミュニケーション技術、10回目の講義はコミュニケーション認定トレーナーの経験を活かし、アクティブラーニングで具体的なプレゼンテーション技術を教授する。	